



実施報告書

食の国際総合見本市！

フードメッセ in にいがた2017

本州日本海側最大！

同時開催

にいがた6次化フェア2017
新潟の食 輸出商談会2017



2017年 **11月8日水** ▶ **10日金**

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

主催：フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主管：日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会

<http://foodmesse.jp>

フードメッセ 検索



主催

フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市

主管

日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)
食と花の世界フォーラム組織委員会

事務局

フードメッセ in にいがた2017運営事務局
(日本食糧新聞社内)

〒103-0028

東京都中央区八重洲1-9-9 東京建物ビル5F
日本食糧新聞社ビジネスサポート本部

<http://foodmesse.jp>

次回開催のご案内

フードメッセ in にいがた2018

同時開催
にいがた6次化フェア2018
にいがた 食の輸出商談会2018

2018年 **11月7日水** ~ **9日金**

朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」

お問い合わせは公式サイトから ▶ <http://foodmesse.jp/>

出展予約
受付中！

出展社・来場者ともに過去最大規模!

「食」のビジネスチャンスが新潟市に集結。

国家戦略特区(農業特区)の新潟市を中心に、国内外から「食の魅力」を発信する国際総合見本市として今年で9回目を迎えた。新商品のトレンドだけでなく、本州日本海側を中心とした地域食材の展覧、デモを交えた包装・機器・容器の展示などが一体となり3日間盛況となった。また、来場バイヤーとの商談成立を図るビジネスマッチングとしての機能はより一層充実。「災害食コーナー」、「海外パビリオン」の集中展示企画、同時開催展として「にいがた6次化フェア2017」、「新潟の食 輸出商談会2017」を含め、多岐にわたる国際総合見本市として本格化した。

開催概要

- 名称 ● 第9回食の国際見本市 フードメッセ in にいがた2017
 同時開催 ● にいがた6次化フェア2017
 新潟の食 輸出商談会2017
- 会期 ● 2017年11月8日(水)～11月10日(金)
 10:00～17:00(最終日は16:00閉場)
- 入場料 ● 3,000円(税込) ※招待券持参者は無料
- 会場 ● 朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター「展示ホール」
- 主催 ● フードメッセ in にいがた運営会議・新潟市
- 主管 ● 日本食糧新聞社・(株)新宣・カシヨ(株)・食と花の世界フォーラム組織委員会
- 後援 ● 国際連合食糧農業機関(FAO) 日本事務所、農林水産省、外務省、駐新潟大韓民国総領事館、在新潟ロシア連邦総領事館、中華人民共和国駐新潟総領事館、日本貿易振興機構(ジェトロ) 新潟貿易情報センター、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、(株)日本政策金融公庫、(公社)新潟県米穀士会、(公社)全日本司厨士協会関東総合地方本部新潟県本部、(一社)新潟県商工会議所連合会、新潟県商工会連合会、(一社)新潟県調理師会、新潟市食品衛生協会、新潟市食品衛生指導員協議会、新潟市旅館ホテル協同組合(順不同)
- 特別協賛 ● (株)ブルボン、亀田製菓(株)、JAグループ新潟、新潟万代島総合企画(株)
- 協賛 ● 亀田郷土地改良区、(一財)亀田郷地域センター、JA新潟市、JA新潟みらい、新潟日報社、一正蒲鉾(株)、NSGカレッジリーグ、新潟県蒲鉾組合、新潟商工会議所、新潟薬科大学、JA越後中央、亀田商工会議所、(株)サンプラスト三笠、(株)第四銀行、(株)北越銀行、(株)大光銀行、JA新津さつき、新潟観光コンベンション協会、新潟経済同友会、新潟商工会議所、新潟水産物卸業協同組合、(株)藤井商店、ホテル日航新潟、三菱商事(株)新潟支店、万代にぎわい創造(株)(順不同)



2017年の特徴 新潟県内、近隣県、首都圏そして海外から450社が出展。フードメッセならではの商材・技術を求めるバイヤーと熱い商談を展開。

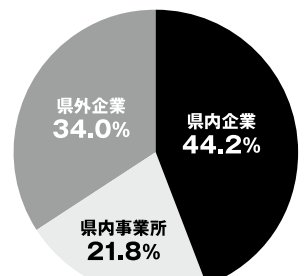
県内企業だけでなく隣接県および県外企業からもバランス良くバイヤーが来場し、本州日本海エリアと首都圏を結ぶビジネスマッチングの機会を多岐にわたり創出した国際総合見本市となった。

- 新潟市を舞台に食産業の情報が集結する全国規模の見本市。
- 出展社のプレゼンは試食・デモを交えた効果的で質の高いものが目立った。
- これからの食を見据えたセミナーなど、農業特区新潟ならではの食の発信。
- 「6次産業化」に特化したフェアの同時開催の効果もあり、より広域の出展を実現。

◎2017年来場者数

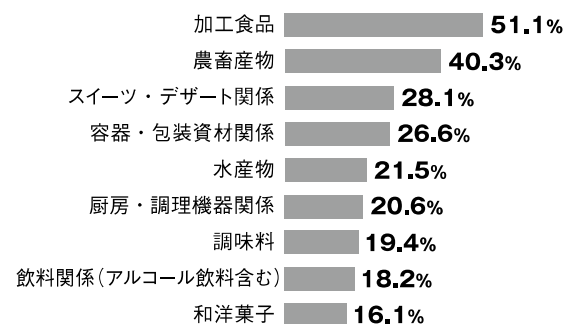


◎バイヤー企業の来場地域分析



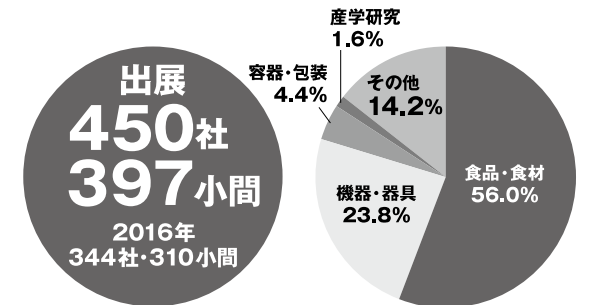
※来場した食品関係バイヤーを食糧年鑑、食品メーカー総覧、全国食品流通総覧等を使用して抽出、事業者数で分析

◎バイヤーが関心を示す出品目(複数回答可)



出展社状況

	出展社計	食品	機器・器具	容器・包装	産学研究	その他
2017	450社	252	107	20	7	64
	出展比率	56.0%	23.8%	4.4%	1.6%	14.2%
2016	344社	203	87	10	8	36
	出展比率	59.0%	25.3%	2.9%	2.3%	10.5%
2015	293社	178	62	9	26	18
	出展比率	60.7%	21.2%	3.1%	8.9%	6.1%



出展の特徴 水産、農産、畜産、酒類、スイーツ… 新規出店も多く、熱気溢れる展示会に。

- キーワードは個性、付加価値、チャレンジ、地域性
 高付加価値を進める地方の食品、食材が新潟そして全国から集まる見本市として定着。生産量は少なくても個性ある地方食品、付加価値の高い生産方法確立にチャレンジする生産者、地域の力を結集する地方団体…差別化を求めるバイヤーが国内外から参集した。
- 商工会議所・商工会・自治体などが食ビジネス振興に意欲
 県内外、各地の商工会・自治体などが、地域ブランドを意識した統一コンセプトで出展する形が拡大。それに伴い各地で出展ノウハウ、商談ノウハウの習得セミナーも活発化。小規模生産者の出展を促して地域食材発掘を狙うバイヤーに好評を博した。
- 先端厨房機器の展示も続々登場
 地方では貴重な最新機器展示、デモ展開の場として定着した。地方にいなから様々な技術や先端情報に触れられるチャンスである。当展をきっかけとする大型設備納入の実績も報告されており、地方の生産技術向上に向けて食品・食材とバランスのとれた展示となった。
- 集中展示企画によるビジネスマッチングの機能強化
 「災害食コーナー」、「海外パビリオン」をはじめ各テーマ・ジャンルに絞ったブースを集中展開することにより、効果的な来場バイヤーとの商談機会を創出した。

- 「にいがた6次化フェア2017」
 北は青森県、南は鹿児島県から全国の6次産業化に取り組む事業者が新潟に集結し、個性溢れる地域食品・食材を探す首都圏の有力バイヤーとの販路拡大をサポート。「第3回6次化大賞」では、最終選考会に残った15社が、6次産業化推進に向けた賞金総額140万円(相当)をかけて、熱のこもったプレゼンテーションを披露。回を重ねるごとに各事業者のレベルアップが顕著に見られ、事業者の旺盛な開発意欲、スキルアップ意欲が示された。今後も魅力ある商品をアピールする絶好の機会として期待が高まる。
- 「新潟の食 輸出商談会2017」
 日本産食品・飲料の輸出に取り組む事業者を対象に、海外から招いた食品バイヤーとの個別商談会を開催した。参加事業者の輸出ニーズをヒアリングして、それぞれに応じた商談のアレンジ・マッチングを実施。新潟を拠点に海外への販路拡大サポートに寄与した。今後も海外バイヤーを招へいた商談会を開催し、定着化を図っていく。

同時開催

地域別出展分布 「食」の情報発信基地・新潟へ。フードメッセはさらに高みを目指す。

	出展社計	市内	県内	県外	海外
2017	450社	136	117	187	10
	出展比率	30.2%	26.0%	41.6%	2.2%
2016	344社	96	79	130	39
	出展比率	27.9%	23.0%	37.8%	11.3%

- 高まる近隣県との連携促進
 新潟の隣接5県すべてからの出展が定着化。出展企業間での交流やノウハウの授受の場となり、今後のビジネスにおける様々なコラボレーションが期待できる機会となった。
- 海外への輸出も視野に
 自社の商品を積極的に販売促進していく中で、海外での販売戦略を立てる出展社が増加。「新潟の食 輸出商談会」を中心に、海外へアプローチするステップの場として今後期待される。

- 全国と新潟の距離が縮まる見本市へ
 新潟県内と県外企業の出展社数がバランス良く均衡していることにより、県内外の距離を縮めることに繋がった。地方の情報を全国へ発信し、全国の情報をスピーディに取り入れるパイプとしての見本市となった。
- 地域別出展社の割合
 新潟市内 30.2%
 県内 26.0%
 県外 41.6%
 海外 2.2%

都道府県別出展分布 新潟から全国へ、世界へ繋がる「食」の国際総合見本市を目指して。

新潟県	253	神奈川県	11	愛知県	6	青森県	2	岩手県	1	三重県	1	愛媛県	1	オーストラリア	4
東京都	65	長野県	9	静岡県	5	京都府	2	茨城県	1	滋賀県	1	鹿児島県	1	スペイン	3
埼玉県	15	群馬県	8	宮城県	4	広島県	2	石川県	1	兵庫県	1			イタリア	2
大阪府	13	福島県	7	千葉県	4	山口県	2	山梨県	1	奈良県	1			ベルギー	1
山形県	11	栃木県	6	富山県	2	北海道	1	岐阜県	1	岡山県	1				

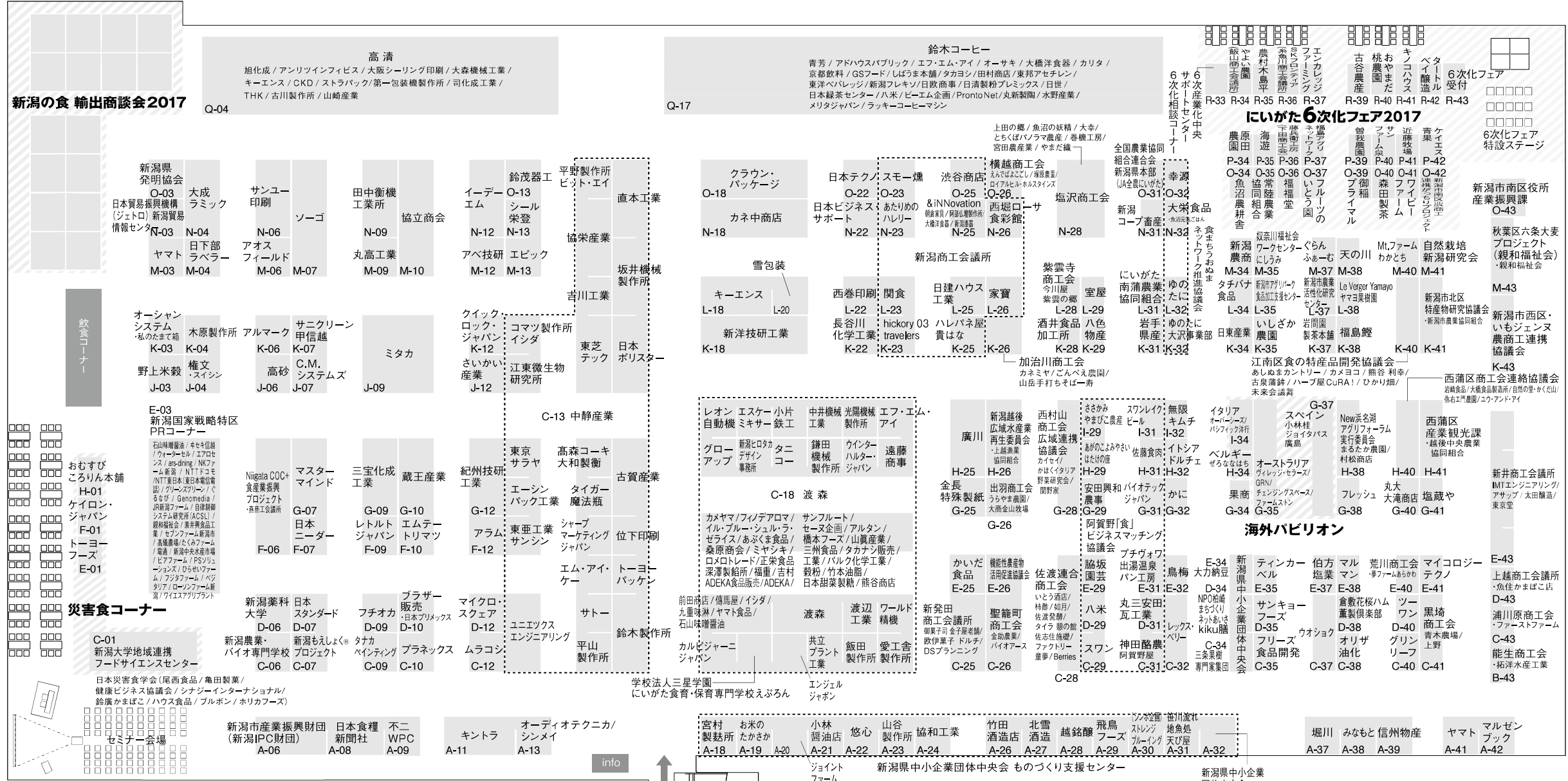
計450社

出展社一覧 / 会場案内図



食品・食材

- 阿賀野「食」ビジネスマッチング協議会
あがのこみやさいはたけの座
(株)神田醸造
阿賀野屋
(有)ささかみやまびこ農産
(株)佐藤食品
(同)スワン
スワンレイクビール
(株)バイオテックジャパン
八米
(株)プチヴォワ 出湯温泉パン工房
(有)安田興和農事
(株)藤坂産芸
秋葉区六条大葉プロジェクト(親和福祉会)
(福)親和福祉会
(株)天の川
新井商工会議所
IMTエンジニアリング(株)
(有)アサップ
太田醸造(株)
(有)東京堂
荒川商工会
(有)夢ファームあらかわ
いしざ農園
イタリアパビリオン
(株)オーバーシーズ
パシフィック洋行(株)
イオンアドルテ(株)
いもジェンズ農商工連携協議会
岩手県産(株)
岩間園製茶本舗
(株)ウオショク
浦川原商工会
ファーストファーム(株)
塩蔵や
(株)オーシャンシステム
私のたまて箱
オーストラリアパビリオン
ヴェルレッジ・セラズ(株)
GRN(株)
(株)チンジンズスペース
ファームストーン(株)
(株)おむすびころりん本舗
オリガ油化(株)
(有)かいた食品
加治川商工会
(有)カネミヤ
ごんべえ農園
山手打ちそば一寿
(株)果糖
(株)かに
機能性農産物活用促進協議会
倉敷花桜ハム(株)薫製倶楽部
(株)ぐらんふあーむ
グリーンリフ(株)
黒崎商工会
(株)青木農場
(株)上野
(株)ケイロン・ジャパン
江南区食の特産品開発協議会
農事組合法人あしめかントリー
農事組合法人カメコ
熊谷 利幸
古泉蒲鉾(株)
ハープ屋 CURA!
ひかり畑
(同)未来会議
(有)酒井食品加工所
佐渡連合商工会
いとう酒店
柿野(同)
如月
佐渡発祥(株)
(株)タイラ 憩の館 佐志住施錠
(有)ファクトリー重夢
Berries
(株)サンキョーフーズ
紫雲寺商工会
今川屋
紫雲の郷
塩沢商工会
(有)上田の郷
魚沼の妖精
(有)大幸
(有)とちくば/ナラマ農産
巻機工房
(株)富田農産業
自然栽培新潟研究会
新発田商工会議所
欧伊菓子ドルチ
新発田商工会議所
御菓子司 金子屋老舗



運営事務局

- (株)DSプランニング
上越商工会議所
(株)魚住かまぼこ店
食まちあめまネットワーク推進協議会
(株)幸源
(有)大栄食品
(株)鳥梅
魚沼元氣ごはん
(株)ゆのたに
(株)ゆのたに 大沢事業部
(株)信州物産
Kiku 謙
(株)鈴木コービー
京都飲料(株)
(株)GSフード
(株)しばりま本舗
東洋ペパレッジ(株)
日政商事(株)
日清製粉プレミックス(株)
今川屋
紫雲の郷
塩沢商工会
(有)上田の郷
魚沼の妖精
(有)大幸
(有)とちくば/ナラマ農産
巻機工房
(株)富田農産業
自然栽培新潟研究会
新発田商工会議所
欧伊菓子ドルチ
新発田商工会議所
(株)DSプランニング
上越商工会議所
(株)魚住かまぼこ店
食まちあめまネットワーク推進協議会
(株)幸源
(有)大栄食品
(株)鳥梅
魚沼元氣ごはん
(株)ゆのたに
(株)ゆのたに 大沢事業部
(株)信州物産
Kiku 謙
(株)鈴木コービー
京都飲料(株)
(株)GSフード
(株)しばりま本舗
東洋ペパレッジ(株)
日政商事(株)
日清製粉プレミックス(株)
今川屋
紫雲の郷
塩沢商工会
(有)上田の郷
魚沼の妖精
(有)大幸
(有)とちくば/ナラマ農産
巻機工房
(株)富田農産業
自然栽培新潟研究会
新発田商工会議所
欧伊菓子ドルチ
新発田商工会議所

- エアロセス(株)
(株)ars-dining
(株)NKファーム新潟
(株)NTTドコモ
NTT東日本(東日本電信電話(株))
(株)グリーンズグリーン
(株)ぐるなび
Genomedia(株)
(株)J.R新発田ファーム
(株)自律制御システム研究所(ACSL)
(福)親和福祉会
素井農産工業(株)
(株)セブンファーム新潟
(有)高橋農場
(株)たぐみファーム
(株)電通
新潟中央水産市場(株)
(株)ピアファーム
PSソリューションズ(株)
(株)ひらせいファーム
(有)フジファーム
ベジタリア(株)
(株)ローンファーム新潟
(有)ワイエスアグリブランド
新潟市アグリパーク 食品加工支援センター
(公財)新潟市産業振興財団(新潟IPC財団)
新潟市農業活性化研究センター
新潟商工会議所
&INNOVATION
(株)朝倉家具
(有)阿部仏壇製作所
(株)大橋洋食器
新潟漆器(株)
ハレパネ屋 賀はな
新潟大学地域連携フードサイエンスセンター
日本災害食(株)
尾西食品(株)
電田製菓(株)
(一社)健康ビジネス協議会
(株)シナジーインターナショナル
鈴廣かまぼこ(株)
ハウス食品(株)
(株)ブルボン
ホリカワズ(株)
新潟もえしよく®プロジェクト
日本食糧新聞社
(株)日本ビジネス・サポート
日本貿易振興機構(JETRO)新潟貿易情報センター
(株)不二WPC
(株)プラネックス
(株)マルゼンブック
(株)ヤマト
(株)渡森
アルタン(株)
(株)イシダ
カメヤマ(株)
(株)三星学園にいがた食育・保育専門学校えぶろん
(株)傳馬屋
(株)新潟ヒロカタデザイン事務所

にいがた6次化フェア2017

- (一財)魚沼農研会
(有)SKフロンティア(糸魚川商工会議所)
エンカレッジファーム(株)
おやまだ桃農園
(株)海遊
(株)ニコハウス
(有)ケイエス青果
(株)近藤牧場
(株)佐藤牧場
(株)サンファーム泉
(株)曾我農園
タートルエム(醸造)
(有)藤兵衛工(道工商会)
新潟市南区農商工連携がっちりプロジェクト
農村木島平(株)
(株)原田農園
常陸農業協同組合
三宅化成工業(株)
丸三安田瓦工業(株)
福富堂
(株)フルーツのいとう園
(株)アラム(株)
(株)サンクロー甲信越
(株)鈴木コービー
(株)アドハウスパブリック
(株)たか商店
(株)日野フレキシ
(株)ピーエム企画
(株)ヒューエム企画
(株)ProntoNet
(株)タナカペインティング
新潟国家戦略特区PRコーナー
石山味噌醤油
(株)中野吉越
ウォーターセル(株)

出展社アンケート



Q1 今回はどのような目的で出展なさいましたか？(複数回答可)

新規取引先開拓	80.6%	(71.8%)
自社製品のPR	69.5%	(74.8%)
新製品PR	23.5%	(30.7%)
既存顧客との交流	21.8%	(22.1%)
市場調査	17.3%	(20.2%)
会場での直接取引	10.7%	(4.9%)
OEM連携先開拓	3.7%	(-)
販売代理店募集	2.9%	(5.5%)
その他	5.8%	(6.1%)

Q3 ブース来訪者総数は何名でしたか？

平均 **209.7名**

(平均 279.6名)

Q5 会期中の成約見込件数は何件でしたか？

平均 **7.7件**

(平均 3.75件)

Q7 商談を行った業種を教えてください(複数回答可)

外食	41.2%	(38.7%)
食品製造・加工	41.2%	(35.6%)
食品商社・卸	37.9%	(32.5%)
スーパー	37.4%	(36.2%)
食品関連等の専門店	31.3%	(30.7%)
ホテル・ブライダル	28.4%	(37.4%)
通販	23.5%	(19.6%)
惣菜・弁当・中食	21.4%	(19.0%)
包材容器	13.6%	(9.8%)
農林水産業	13.2%	(11.0%)
官公庁団体	12.8%	(11.0%)
給食	12.7%	(11.0%)
食品機械・厨房機器	11.5%	(14.7%)
デパート	11.1%	(11.0%)
病院・介護施設	8.2%	(11.0%)
その他	8.2%	(10.4%)
食材宅配	4.5%	(1.2%)
ライフスタイルショップ	4.1%	(-)
生協	2.1%	(1.8%)
ドラッグストア	0.8%	(-)
CVS	0.4%	(1.2%)

◎今後もアンケートを実施し、追跡調査を行う予定です。※()内は前回のデータです。

来場者アンケート



Q2 ご来場の主な目的は何でしょうか？(複数回答可)

新製品等の情報収集	68.1%	(68.4%)
業界の動向調査	45.7%	(49.6%)
新規取引先の開拓	29.6%	(36.9%)
既存顧客との交流	29.3%	(22.5%)
研修・見学	24.2%	(32.0%)
食材・素材等の購入	16.1%	(11.5%)
機器導入	12.2%	(13.1%)
セミナー聴講のため	6.6%	(17.2%)
次回出展のための視察	2.4%	(4.5%)

Q4 仕入れ先や取引先に要求する条件として、特に重要視するものは何ですか？(複数回答可)

品質・味	57.9%	(63.1%)
安全性	48.9%	(58.2%)
価格	48.7%	(51.6%)
製品の独自性・付加価値	42.7%	(48.0%)
提案力	39.1%	(40.6%)
供給力・対応力	26.6%	(34.0%)
商品ラインナップ	24.2%	(19.3%)
特になし	5.1%	(5.3%)

Q7 来場地域

新潟	71.3%	-
東北	5.1%	宮城県・山形県・福島県・青森県
北信	3.0%	富山県・福井県・長野県・石川県
関東	16.4%	東京都・神奈川県・茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県
東海	1.2%	静岡県・愛知県
近畿	1.8%	大阪府・京都府・兵庫県
四国・九州	1.2%	香川県・愛媛県・大分県

※一部、本社所在地で集計。

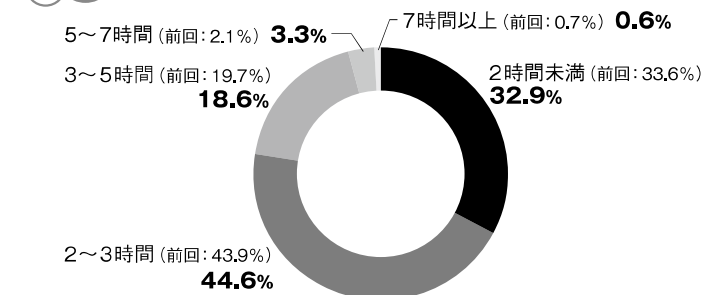


Q1 業種を教えてください

食品製造・加工	28.9%	(28.5%)
食品商社・食品卸売	17.5%	(22.2%)
包材容器製造・販売	9.9%	(4.2%)
外食	9.5%	(7.0%)
農林水産業	6.6%	(5.6%)
食品機械・厨房機器製造・販売	5.2%	(10.4%)
スーパー・デパート・CVS	5.2%	(7.0%)
ホテル・ブライダル	3.8%	(4.9%)
給食	2.8%	(2.1%)
食品関連の専門店	2.8%	(2.1%)
病院・介護施設	1.9%	(2.1%)
惣菜・弁当・中食	1.4%	(1.4%)
食品を扱う通販・食材宅配	1.4%	(1.4%)
生協	0.9%	(2.1%)

※その他(金融機関、印刷業、学校、官公庁等)を除く割合

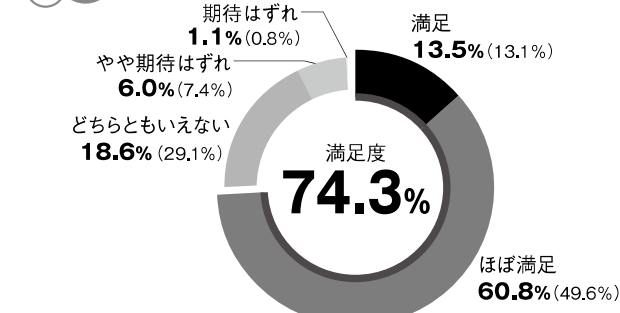
Q3 会場での滞在時間を教えてください



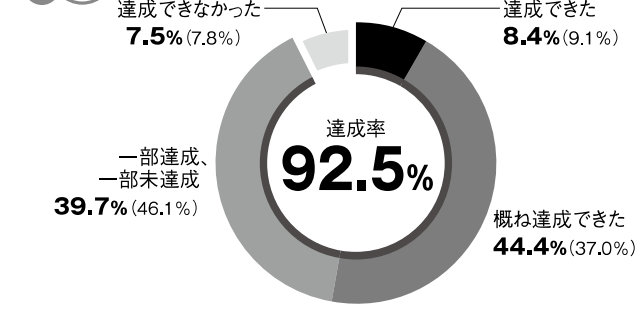
Q5 今後どのような出品目の増加を望みますか？(複数回答可)

加工食品	51.1%	(53.3%)
農畜産物	40.3%	(44.3%)
スイーツ・デザート関係	28.1%	(34.4%)
容器・包装資材関係	26.6%	(29.1%)
水産物	21.5%	(28.7%)
厨房・調理機器関係	20.6%	(25.0%)
調味料	19.4%	(21.0%)
飲料関係(アルコール飲料含む)	18.2%	(18.4%)
和洋菓子	16.1%	(18.0%)

Q6 ご来場に対する満足度はいかがでしたか？



Q2 それらの目的は達成できましたか？



Q4 会期中の商談件数は何件でしたか？

平均 **17.1件**

(平均 10.5件)

Q6 会期中の成約見込金額はどのくらいでしたか？

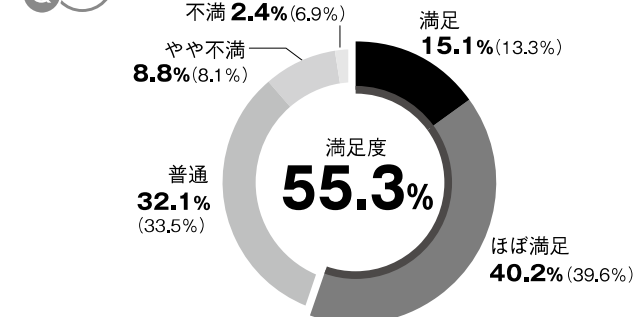
平均 **758,823円**

(平均 737,288円)

Q8 どのような成果がありましたか？(複数回答可)

新規顧客の開拓	72.8%	(62.0%)
既存顧客との商談・交流	50.6%	(45.4%)
同業者との商談・交流	35.4%	(38.0%)
新製品の開発のヒント	16.5%	(15.3%)
サンプルの依頼	15.6%	(28.2%)
新製品のマーケティング	13.6%	(14.1%)
共同開発の可能性	7.8%	(9.2%)
その他	5.3%	(4.9%)
成果なし	0.8%	(1.8%)

Q9 本展示会の総合評価をお聞かせください



イベント・展示企画・セミナー・「新潟の食 輸出商談会」



＜オープニングセレモニー＞



開会式では篠田昭新潟市長ら主催関係者および協力会社、各国の新潟総領事館、地域金融機関、商工団体などが登壇してテープカットが行われ、「フードメッセ in にいがた2017」が盛大に開幕した。

【開会式】
11月8日(水)
午前9時35分よりセレモニー開始
午前10時会場

＜交流レセプション＞

初日の8日(水)午後6時よりホテル日航新潟において開催された。31階のスカイラウンジから見る新潟の夜景の美しさ、新潟特産の米や食材を使用した郷土料理と新潟を代表する酒蔵の銘酒が会場を盛り上げた。

新潟市や各地域の商工会、地元経済界や大学、各国の新潟総領事館、出展社など約120人が参加し、「フードメッセ in にいがた」ならではの

国際色豊かな情報交換が活発に行われた。また、食品・容器・機器などをはじめ、様々な分野の出展社が有意義な商談をすることによって、将来的なビジネスのコラボレーションに繋がるのが期待される機会となった。



＜災害食コーナー＞

国内唯一、災害食に特化した展示企画として日本災害食学会と共催し、今年で第2回目となる「災害食コーナー」を展開。“いつかにそなえていまできること”をテーマとして、日本災害食認証商品を含め、新潟から優れた商品を紹介しながら“新たな備え”を発信した。災害食の商品を取り扱う出展社は、非常時の食品としての機能面だけでなく、美味しさに加え多様な食べ方を提案し、来場バイヤーに対して効果的にアピールする機会となった。また、2日目に開催したセミナー・シンポジウムと連動することにより、更なる販路拡大のサポートに繋がった。

今後のマーケットで、普段から少し多めに食材・加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を備蓄しておく「ローリングストック法」の取り組みが、更に高まっていく可能性を示唆した。



＜海外パビリオン＞

新潟県及び隣接エリアのスーパー/百貨店/外食/ホテル・旅館などへの販路拡大を目指し、4ヶ国から10社が出展した。今回はワインやビール等のアルコール類の出展が目立ち、首都圏や関西圏に比べ、アピールする場が少ない本州日本海側のマーケットを攻略する絶好の場として商談や情報交換が活発に行われていた。

【参加国一覧】

- イタリア ●オーストラリア
- スペイン ●ベルギー (五十音順)



＜セミナー＞

最先端の食と農、「災害食」の取り組み、世界に向けた食産業など、それぞれの専門講師によって、新潟から新たな情報を発信する機会となり、3日間ともに多くの聴講者で賑わった。

11/8(水)

●基調講演
「食と農の力を活かした地方創生～レストランパスが産地を巡る! 農業特区効果を追い風に新潟市が進めるガストロノミーツーリズム～」



【講師】新潟市長
篠田 昭 氏

●シンポジウム「農業との連携から広がるビジネスチャンス」

【登壇者】



新潟市長
篠田 昭 氏



ミュージックセキュリティーズ(株)代表取締役
小松 真実 氏



WILLER(株)執行役員
宿谷 勝士 氏



東日本旅客鉄道(株)執行役員新潟支社長
今井 政人 氏

11/9(木)

●セミナー
「伝統食品おとうふの新たな取り組み」



【講師】相模屋食料(株)代表取締役社長
鳥越 淳司 氏

●基調講演「食支援の在り方を問う(激甚災害指定)朝倉市杷木地区の炊き出しから」



【講師】甲南女子大学 名誉教授
奥田 和子 氏

●シンポジウム「日本災害食の認証と『おもいやり災害食』の登場」



【コーディネーター】新潟大学 地域連携フードサイエンスセンター准教授/事務局長
藤村 忍 氏

【パネリスト】



宇宙航空研究開発機構(JAXA)広報部
中沢 孝 氏



ホリカフーズ(株)経営戦略室取締役
別府 茂 氏



亀田製菓(株)お米研究所主任研究員
渡辺 紀之 氏



(一財)都市防災研究所 上席研究員
守 茂昭 氏

11/10(金)

●セミナー
「地方百貨店による地域活性化の姿～『NIIGATA越品プロジェクト』の取り組みについて～」



【講師】(株)新潟三越伊勢丹新潟伊勢丹店NIIGATA越品プロジェクトリーダー兼リビング・呉服宝飾美術 担当部長
加藤 義博 氏

●セミナー「6次産業化から見たカゴメの取り組み」



【講師】6次産業化推進協議会委員/カゴメ(株)農事業本部業務推進部部長
藤井 利行 氏

●セミナー「日本発オーガニックを超える潮流『自然栽培』」



【講師】宮尾農園 代表
宮尾 浩史 氏

●セミナー「JAPAN POINTとBENTO LABOで進める日本食材普及戦略」



【講師】アグリホールディングス(株)代表取締役社長
前田 一成 氏

＜新潟の食 輸出商談会2017＞

新潟を拠点とする食品輸出の促進を目指して「新潟の食 輸出商談会2017」を開催した。商談会では、台湾、シンガポール、マレーシア、インドネシア、ロシアの食品バイヤーと新潟市内企業及びフードメッセ出展社による個別商談を実施した。コメや日本酒を始め、農水産品、加工食品、調味料など幅広い商品商談が行われ、バイヤーからはいずれも高い関心が示された。

商談実績
バイヤー数: 15社
日本側参加社数: 30社
商談件数: 146件
成約見込件数: 102件 (バイヤーレポートベース数値)



にいがた6次化フェア



「フードメッセ in にいがた」では、地方の食品産業の活性化策として国が推進する6次産業化にいち早く注目し、共通の課題である販路開拓を支援してきた。

「にいがた6次化フェア2017」においては、全国から24の6次産業化に取り組む事業者が出展し、地域食品・食材を探す有力バイヤーとの商談機会を提供した。

本年も A-FIVE (株)農林漁業成長産業化支援機構と連携し、会期前の準備段階から事業者のそれぞれの課題をヒアリングして個別にサポートを実施。展示会に出展経験のない小規模事業者でも、出展しやすい条件を整備した。

更に出展社説明会にてFCPシートの勉強会を開催。また、各地の商工団体や自治体と連携して地域に密着したスキルアップセミナーを開催する等、事業者のレベルアップを図る機能もより一層充実化を図った。その効果もあり、「6次化大賞」や「予約制個別商談」において、各商品のコンセプトが研ぎ澄まされ、今後の販路拡大のサポート及び出展の満足度アップに繋がった。

また、事業者どうしの情報交換の場としても有効活用され、新潟から全国の6次産業化に取り組む事業者のネットワーク拡大にも期待が高まった。



予約制個別商談



予約制個別商談は、6次産業化に取り組む事業者に通ずる課題である「流通との接点の強化」を目的に企画運営された。

事業者から事前に提出されたヒアリングシートとFCPシートをもとに、地域産品・6次産業化商品の発掘に関心のある有力バイヤーを招致し、新潟県内のみならず、首都圏を中心に全国から18社集まって頂いた。

事業者及びバイヤーの要望・スケジュールなどを事前調整して、精度の高いマッチングを目指し、商談成約のサポートを図った。

各出展ブースをバイヤーが訪問する形でブース内のテーブルで商談が行われ、2日間にわたって展開された商談数は延べ91件となった。

参加バイヤー企業一覧

(株) ARAN.	(株) JP三越マーチャライジング	(株) 太子堂	歯屋インターナショナル(株)	(有) レインボートレーディング
(株) エイト	(株) 治元	(株) 大丸松坂屋百貨店	(株) ポプラ	ロイヤル空港高速フードサービス(株)
(株) おさきん	(株) セイノー商事	(一社) 地域資源活用会	ヨシケイ・ナラ	(50音順)
国分関信越(株)	(株) 然	(株) ハークスレイ	(株) レインズインターナショナル	

6次化相談コーナー

6次産業化に取り組む事業者の育成・支援を目的に国によって設立された A-FIVE (株式会社農林漁業成長産業化支援機構) および6次産業化中央サポートセンターの全面的な協力を得て、出展する事業者だけでなく、来場する1次産業事業者の「6次産業化」に関するさまざまな悩み・疑問に答えることを目的に、「6次化相談コーナー」を開設。

中央サポートセンターから派遣されたプランナーが、さまざまな相談に対応し、個別にアドバイスを行い、当日の商談をサポートした。

本年より出展する事業者に対し、展示会への出展準備段階、さらには会期終了後のフォローまで一貫したサポート体制を確立させ、事業者それぞれの課題に対してきめ細かいアドバイスにより、今後の6次産業化の発展・定着に寄与した。



北陸農政局新潟支局特別セミナー



セミナー講師：野口 喜弘氏 (6次産業化プランナー・株式会社京王百貨店新宿店 食品・レストラン部 商品担当 バイヤー (運物・産直・生鮮・加工肉))
 セミナータイトル：「地域発！選ばれる商品開発のポイント 最終消費者・お客様が喜ぶ『お品物』づくりをめざして」

6次産業化に造詣の深い現役のバイヤー・野口氏による特別セミナーを開催。多くの6次産業化に取り組む関係者が会場を訪れ、終始盛況であった。

バイヤーの立場から商品開発・コンセプト設定等に対する実践的なノウハウをアドバイスして頂き、今後の課題解決へのヒントに繋がる事が期待される。

第3回「6次化大賞」

今年で3回目を迎える「6次化大賞」は、北は青森県、南は鹿児島県より39事業者・66商品のエントリーがあった。会期中は、会場内特設ステージにて「最終選考会」を2日間にわたって開催。一次審査を通過した15事業者がステージで審査委員と聴講者を前に、課題の「提案力・説得力」を競う、熱のこもったプレゼンテーションを披露した。プレゼンテーション後、審査委員からは温かくも厳しい意見・アドバイスがあり、事業者の今後の事業計画のブラッシュアップに繋がった。また、最終日には「受賞者プレゼンテーション」(グランプリ・新潟市長賞・日本食糧新聞社賞)を実施し、各受賞商品を改めてアピールする機会となった。

- 【審査委員長】 箕田 出 (新潟市農業活性化研究センター 所長)
 【副審査委員長】 加藤 義博 (株)新潟伊勢丹店 NIIGATA越品プロジェクトリーダー 兼 リビング・呉服宝飾美術担当部長)
 【審査委員】 武藤 麻実子 (日本食糧新聞社 月刊「食品新製品トレンド」編集長)
 【審査委員】 大慈 弥 晶子 (前6次産業化中央サポートセンター事務局長)
 【審査委員】 桶矢 茂守 (6次産業化中央サポートセンター プランナー (有)セレンディブ マネージャー)
 【審査委員】 田中 良介 (6次産業化中央サポートセンター プランナー アグリマーケティング(株) 代表取締役)

第3回 6次化大賞 最終選考会 結果

エントリー 39社のうち一次予選を通過した15社が、6次化推進に向けた賞金総額140万円(相当)をかけて、熱のこもったプレゼンテーションを披露。

6名の審査委員が審査基準をもとに、それぞれの専門分野からの視点も加えて厳正に審査した。

最優秀賞の「グランプリ」、「新潟市長賞」、「日本食糧新聞社賞」、「入賞」、「入賞・特別賞」、合計7社が下記のとおり受賞し表彰された。



<h3>グランプリ</h3> <p>福福堂 福島県田村市</p>	<h3>新潟市長賞</h3> <p>ロイヤルヒル ホルスタインズ 新潟県新潟市</p>	<h3>入賞</h3> <p>(株)海遊 宮城県石巻市</p>	<h3>入賞</h3> <p>農村木島平(株) 長野県下高井郡木島平村</p>
<h3>日本食糧新聞社賞</h3> <p>(有)SKフロンティア 新潟県糸魚川市</p>	<h3>入賞</h3> <p>上越漁業協同組合 新潟県糸魚川市</p>	<h3>入賞・特別賞</h3> <p>PEARL BARLEY 一丸麦 新潟県産六条大麦 ゆきみ六条</p>	

<p>(有)アサップ はおずきコンポート</p>	<p>(株)天の川 冷凍ブラックベリーピューレ (無糖)</p>	<p>(一財)魚沼農耕舎 魚沼そば(バスタ)</p>	<p>三条果樹専門家集団 ルレクチェ カービングコンポート</p>
<p>(株)曾我農園 曾我農園ナチュラル デザートケチャップ</p>	<p>タートルベイ醸造 我が家のコンヒカリ お米サイダー</p>	<p>(株)原田農園 はらだのクーヘン</p>	<p>常陸農業協同組合 米醸酵アイス パニオラ・古代米・小豆・栗</p>

- 【そのほかの6次化大賞エントリー企業】(50音順)
- | | | |
|---------------------------------------|--|--|
| エンカレッジファーム(株) トマトDE甘酒 | 蕪商工会議所 HIENプロジェクト HIEN 黒米ラスク | (株)Mt.ファームわかとち わかとの漬物 |
| おやまだ桃農園 桃ジャム(ノーマル・赤ワイン・白ワイン) | (有)藤兵衛工房 こくわのソース | 御稲プライマル(株) 三五八 |
| (株)キノコハウス メープルソーダ 200ml | 新潟市南区農工連携がっけりプロジェクト みんなで食べられる、ごだわりカレーセット | 森田製茶 神チョコ アソート |
| (株)ぐらんふあーむ 国産大麦グラノーラ soup-inシリーズ @防災食 | 農事組合法人カメヨコ 大豆フムス | (株)弥右エ門農園 柿の葉玄米コーヒー・柿の葉玄米チャイ |
| (有)ケイエス青果 青森県産津軽じょうり親父の熟成黒にんにく | ファーストファーム(株) ヤギ乳100%使用 ヤギさんのバター | やよい農園 優い愛椿(信州産フルーツ・雪国パッションフルーツシード入り 米粉携帯補助食) |
| (株)近藤牧場 クレマカタラーナ | 福島アグリネットワーク(有)岡崎 セミドライフルーツ(白桃) | Le Verger Yamayo ヤマヨ果園 ルレクチェジュース180ml(果汁100%ストレートジュース) |
| ごんべ農園 原木栽培「ごんべえ椎茸」 | (株)フルーツのどう園 duo de raisins(巨峰の枝付き干しぶどう) | (株)ワイビーファーム 桑の素 |
| (株)サンファーム泉 きゅっとしたアロニアポリフェノールミックス果汁 | 古谷農産 黒米入り玄米煎餅 | |

各種媒体への開催告知



★近代食堂
(2017年6月号)



★日本食糧新聞(2017年8月4日付)



★にいがた経済新聞(2017年10月10日付)



★日本食糧新聞
(2017年11月1日付)

出展プロモーション



★日本食糧新聞
全5段
(2017年7月12日付)



★日本食糧新聞
全5段
(2017年8月4日付)

誘客プロモーション



★新潟日報
全5段
(2017年11月4日付)



★新潟経済新聞全3段
(2017年10月10日付)

開催レポート



★新潟日報 (2017年11月9日付)



★朝日新聞
(2017年11月9日付)



★新潟日報 (2017年11月11日付)



★日本食糧新聞
(2017年11月20日付)



★日本農業新聞 (2017年11月10日付)

他...

- 産経新聞 (2017年11月9日付)
- にいがた経済新聞 (2017年11月11日付)
- 新潟日報 (2017年11月14日付)
- 新潟日報 (2017年11月18日付)
- 日本農業新聞 (2017年11月25日付)
- 国際イベントニュース (2017年11月25日付)
- 日本食糧新聞 (2017年12月1日付)
- 財界にいがた (2017年12月号)

など掲載多数

<テレビ>

局名	番組名
NHK新潟放送局	新潟ニュース610
BSN新潟放送	NEWS ゆうなび
TeNY テレビ新潟放送網	夕方ワイド新潟一番
NST新潟総合テレビ	FNN・NST みんなのニュース

★日本経済新聞
(2017年11月9日付)

■新聞広告■

- ・日本食糧新聞
- 対象地域：全国

■新聞広告■

- ・日本食糧新聞
- 対象地域：全国
- ・新潟日報
- ・にいがた経済新聞

★日本食糧新聞全15段
(2017年11月3日付)

公式ガイドブック



★食品メッセにいがた
公式ガイドブック
仕様：A4 44ページ
部数：6,000部



★6次化大賞
公式ガイドブック
仕様：A4 48ページ
部数：1,000部

★招待券
仕様：A3 両面 4色×1色
巻3つ折り
部数：150,000部

公式ウェブサイト



★食品メッセにいがた 公式ウェブサイト
<http://foodmesse.jp/>



★災害食コーナー ウェブサイト
<http://foodmesse.jp/disaster-food/>



★6次化フェア
公式ウェブサイト
<http://foodmesse.jp/6fair/>

招待状



ポスター



★仕様：B2 カラー 部数：1,000部